

質問書に対する回答20

件名) 首都圏中央連絡自動車道 横芝光舗装工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書P15 16. 支給材に関する事項	<p>特記仕様書P15 16-1支給製品について、土木工事積算基準R6 P2-30 5-2の「支給製品費」を摘要し、①費用の1/2を間接工事費の対象としてお考えでしょうか。</p> <p>その際の支給製品費は、②中古製品として新品価格の70%でお考えでしょうか。</p> <p>それとも、土木工事積算基準R6 P2-30 5-1の「支給材料費」を摘要し、③費用の全額を間接工事費の対象としてお考えでしょうか。</p> <p>①間接工事費=新品価格×1/2 ②間接工事費=新品価格×70%×1/2 ③間接工事費=新品価格そのまま</p> <p>上記①②③のどれで計上されているかご教示願います。</p>	<p>支給資材費に関する取り扱いは土木工事積算基準第2編「間接工事費及び一般管理費」のとおりです。</p> <p>なお、本工事の支給製品であるワイヤーロープの施工は率計上工事に関する事項に含まれるため、契約後契約内容が確定し、契約変更を行う際に上記取り扱いを適用する予定です。</p>
2	特記仕様書P16 17. 残存物件の処理に関する事項	<p>特記仕様書P16 17. 残存物件の処理に関する事項に記載のある表の数量と図面9/9 1/19の率計上項目数量表の数量に差異がある項目が数項目あります。</p> <p>特記仕様書の数量が正しいと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>いずれの数量も現時点での想定であり、具体的な数量は契約後現地照査に基づき確定をするものとなります。</p>
3	図面9/9 1/19率計上項目数量表	<p>図面9/9 1/19率計上項目数量表において、番号の率-36-仮設防護柵工(目隠し) 存置、率-38-目隠し板工(添架型) 存置、率-41-仮設防護柵存置、率-45-カラーコーン存置、率-49-クッションドラム存置、率-53-A型バリケード存置という工種があります。</p> <p>上記の工種の施工については、現場着手時には上記の仮設置物が現場に存在し、契約時点でそれを引き継いだのち、工期810日間のリース費用、維持管理費用を当工事で請負うという考えでよろしいでしょうか。</p> <p>異なる場合、施工内容をご教示いただけますでしょうか。</p>	<p>記載された仮設構造物は現地着手時点で現場に存在します。</p> <p>本工事では該当する仮設構造物を引き継ぎ使用することになります。</p> <p>存置期間や費用の取り扱いについては契約後に確定することになります。</p>
4	詳細図 6/9 P77/89 のり面防火対策工	<p>詳細図 6/9 P77/89に記載がある擬石マットの製品は、市場にみられません。</p> <p>当初積算計上での、当該製品の価格をご提示願います。</p>	<p>個別の材料に関する価格の提示は行いません。</p>
5	詳細図 6/9 P77/89 のり面防火対策工	<p>詳細図 6/9 P77/89に記載がある擬石マットの製品は、市場にみられません。</p> <p>質問回答13-4にて、「材料は見積り」とご回答いただいておりますが、質問回答17-1では、「製品の指定は無い」とご回答いただいておりますが、当初積算計上では類似の同等品での見積りを採用しているのでしょうか。</p> <p>その場合、当初計上されている製品の寸法および仕様をご教示願います。</p> <p>それとも、詳細図にある仕様そのものの擬石マットを特注した場合を想定しての見積りを採用しているのでしょうか。</p>	<p>設計図書に示す仕様を満たす製品の見積採用を想定しています。</p>